

# 特別対談

— 新塾長、  
新会長、  
就任記念

# 今こそ

# 進むべき

# 義塾の道

2021年5月、慶應義塾の新塾長に就任した伊藤公平さんと、慶應高校同窓会の新会長に就任した永野毅さん。コロナ禍も明けず、国際社会も日本の先行きも不透明なこの時代に、慶應義塾の存在意義とは何か。「全社会の先導者たらんことを欲するものなり」という福澤先生の言葉に共鳴する2人のリーダーが、未来を担う世代への切実な思いを語り合う。



慶應義塾長  
伊藤公平さん

KOHEI ITOH

慶應義塾高等学校  
同窓会会長  
永野毅さん

TSUYOSHI NAGANO

明日のために、  
社会の先導者が  
求められる今。

慶應義塾長



# 伊藤 公平

さん (36期)

KOHEI ITOH

1989年慶應義塾大学理工学部卒、UC Berkeley工学部より修士号・Ph.D.取得後、慶應義塾大学理工学部助手(1995年)、専任講師、助教授を経て2007年より教授。'17年より'19年は理工学部長・理工学研究科委員長、日本学術会議会員も兼任。学生時代は庭球部に所属し、教員として庭球部長も務めた。2021年5月より慶應義塾長。

**永野毅さん(以下永野)** 今回の東京2020では慶應のオリンピックが9人、パラリンピックが1人ですか。凄いですよね。こんなにたくさんの方が同時に出たのは過去に例がないんじゃないかな。  
**伊藤公平さん(以下伊藤)** 先日、湘南藤沢キャンパスに行ってきた

んですが、横断幕がたくさん下がっていて凄かったですよ。皆さんほとんどSFCご出身なので。  
**永野** 我々は体育会出身なので、やはりスポーツは理屈抜きに胸に響くものがありますよね。コロナ禍のオリンピックということで賛否ありましたが、無観客で選手しか見えないという意味では、選手中心のオリンピックになったんじゃないですか。ここから本来の目的に立ち返ってくれば良いなあと思いますけど。

**伊藤** 私はもう少し上手くできたんじゃないかと思えます。最初から選手たちのためだけに、スタジアムなんかも造らずに、造ってもいいですけど、もっと違ったことができたんじゃないかと。  
**永野** 次世代のために、どういう意義があるのかということを、国のリーダーやオリンピックに関わるトップの人たちに、自分の言葉で世の中に向けてもっと発信してもらいたかったですね。

**伊藤** それは慶應義塾の存在意義、慶應義塾高等学校の存在意義についても同じことが言えるので、頑張っていかなければならないところですけど(笑)。  
**永野** 難しい時だからこそ、単にバランスを取るということではなく、真のリーダーシップが今こそ問われる時でしょう。反対を覚

慶應義塾高等学校同窓会会長  
東京海上ホールディングス株式会社  
取締役会長



# 永野 毅

さん (22期)

TSUYOSHI NAGANO

1975年慶應義塾大学商学部卒業後、東京海上火災保険株式会社入社。2013年東京海上日動火災保険株式会社・東京海上ホールディングス株式会社取締役社長就任。2019年より東京海上ホールディングス株式会社取締役会長。2018年11月より慶應義塾職員評議員。2021年6月より第7代慶應義塾高等学校同窓会会長。高校・大学と7年間水泳部葉山部門に所属し、外洋の遠泳を中心に活動。

悟してでも、正しいと思うことを言わねばならない。

**伊藤** リーダーシップというのは受け止め方が人によって違うんですけども、私は慶應義塾において民主主義をどこまで健全に発展できるかがすべての勝負だと思っています。リーダーがすべてを考

えるというのではなく、永野さんを拝見していると部下の皆さんの話をよく聞いてらっしゃるし、逆に永野さんに気にかけてもらっているという話をよく聞きます。慶應義塾は営利団体ではないので、今の分断された世の中だからこそ民主主義の理想をどれだけ追っていくかが勝負だと思います。

**塾長就任会見に  
込められた  
次世代への思い。**

**永野** 私はこれ(伊藤塾長就任会見の記事)をうちの役員連中全員に見せたんですよ。これをちゃんと読んだかと。まさに未来をどうデザインするかということしか彼の頭の中にはないよと。次世代のために何ができるか。50年後、今の学生が70歳になった時について語られていますけど、自分の子供や孫がどういう地球に生きていきたいか、それを自分ごととして考える。そこで塾長のおっしゃっている「新たな社会を創っていく先導者でなければなりません」という言葉、これにつけると思えます。あらゆるセクターが次世代の利益のために何をするか、自分たちの目的を設定して動く。それが今ほど求められている時はないでしょう。コロナの先、SDGsの



先、どういふ世界になるかと言え  
ば、人間としての本源的な価値  
が求められる社会になるだろうと、  
つくづく思います。

**伊藤** 生物学的な種の保存という  
考え方と、結局のところ我々は子  
孫、もし自分に子供がいなくても、  
自分たち人間というものが幸せに  
生きていくことを望むのが基本だ  
と思います。その時に自我が強  
くなりすぎると分断され、極端にな  
ると戦争になって強いものだけが  
残ればいいということになってし  
まう。それを何とか避けて全体が  
平和になる世界を作って行くべき  
だというのが慶應義塾の考えだと  
思うんです。今は二者択一になり  
つつあるので、そこを何とか全体  
が平和に最適化できるように方向  
をみながら考えていきたい。

**永野** いろんなところで語って  
らっしゃると思いますが、どうい  
う慶應義塾を作っていたかとお  
考えですか。

**伊藤** やっぱり塾生中心ですね。  
塾生が主役になることだと思います。  
塾生の将来が幸せになるため  
の教育と研究であることがすべて  
である気がします。学塾ですからね。  
**永野** 塾生の将来は社会の一員に  
なるわけですから、社会がより良  
くなるためには、まずは塾生の将  
来が幸せになることが大切であり、  
そうした彼らが社会を先導してほ



対談は三田キャンパス内塾監局  
において、昨年7月に行われま  
した。誌面の都合で全部はお届  
けできませんが、慶應義塾の教  
育の未来について、お2人の話  
は多岐に渡って弾みました。



人がいれば、そういう人たちの環  
境を作ることこそ義務なんですね。

### 青臭くても

### 理想の追求を 言い続ける覚悟。

**永野** 慶應には独立自尊をはじめ、  
いろんな言葉がありますが、「一  
所の学塾として自ら甘んずるを得  
ず。……全社会の先導者たらんこ  
とを欲するものなり」という福  
澤先生の「慶應義塾の目的」。私  
は恥ずかしいんですが自分が高校、  
大学時代にあまり見聞きしたこと  
がないんですよ。これは当初から  
パーパスとして設定されていたん  
ですか。

**伊藤** これは福澤先生が社中に向  
けた演説でおっしゃったことの  
一部を切り取ったものなんです。  
社中に対しての訓示だから私たち  
には響くのですが、慶應義塾に関

係ない方が「慶應義塾が先導者に  
なることを欲する」と聞くと……。  
**永野** 傲慢に聞こえていけない。  
**伊藤** いわゆるミッシヨンステー  
トメントを海外のすべての大学が  
出しています。義塾も「慶應義塾  
の目的」の英訳を提示しているの  
ですが、社中向けの訓示がパブ  
リックに向けたミッシヨンステー  
トメントでいいのかと、実は私は  
心の中でずっと問いかけています。

例えば「わが日本国中における気  
品の泉源」という部分も、明治の  
日本で気高く独立しようというこ  
とは画期的なことなのですが現代  
では「世界の気品の泉源」になら  
なければいけない。明治の福澤先  
生のスピリットと言葉を継承する  
義塾で学べる我々は本当に幸せな  
だけに、その目的を社中のそれぞ  
れがアップデートしなければなら  
ない。

**永野** 私は東京海上ホールディン  
グスという会社に籍を置いている  
んですけど、何のために我が社が  
生まれ、何のために存在している  
のか、その目的がいちばん大事  
だと思っているんです。私たち  
の会社で言っているのは、みなさ  
んの一つ一つの今の仕事、難しい  
仕事もあれば、そうじゃない仕事  
もあるかもしれないし、ローカル  
な仕事もあればグローバルな仕事  
もある。どんな仕事も我が社の目

## 自分たちの課題と塾の目的が どうつながっているか。 考え、対話することによって 凄い力が生まれる。 永野毅さん



「それは先導者としての  
理想を追求していただけますか？」  
教員にも自分にも

問い続けていきたい。 伊藤公平さん

的に繋がっているってことを忘れ  
ないでくれと。それがどうつな  
がっているかをそれぞれが考える  
ことが、みなさんのモチベーショ  
ンを高めることになるんだと。私  
は高校、大学時代にこの「慶應義  
塾の目的」を知らなかったし、語  
ることもありませんでした。慶應  
義塾も生徒、教員、塾員一人一人  
が自分たちの課題と塾の目的がど  
うつながっているか考え、対話す  
ることによって凄い力が生まれて  
くるんじゃないかと思いました。

**伊藤** 私としてはテーマは「先導  
者としての理想の追求」この一言  
にすべて集約させようと思ってい  
ます。福澤先生が理想を追求する  
ために創った慶應義塾においてこ  
そ、教員に対しても、自分に対す  
る問いでもありますが、「それは  
先導者としての理想を追求してい  
ますか」と、青臭くてもひたすら  
言い続けようと思っています。

**永野** 我々はその理想を現実にな  
近づけるように、同窓会として  
もできることをやっていきたいと  
思います。

**伊藤** 理想を語るだけでは駄目で、  
やはり実社会をご存じて実社会で  
活躍されている方々が我々の頼り  
でございますので、よろしくお願  
いします。